

## 1. 施設の概要

所在地	北海道函館市亀田港町 56 番 12 号
施設	特別養護老人ホーム（ユニット型）60 床 1 階：特養ユニット 2、厨房、交流ホール他 2 階：特養ユニット 2、浴室（特殊浴槽）、事務室他 3 階：特養ユニット 2、私物保管庫、会議室他

## 2. 地域及び施設の特徴

### （地域の特徴）

観光都市として名高い函館市であるが、同じ道内の札幌、旭川や他県などの都市部に毎年 3000 人ほど転出しており、高齢化に加え人口流出も大きな問題となっている。施設待機者は 1000 人以上と推測され、当該施設近隣でも主にサ高住を始めとした高齢者施設がいくつも建設中であった。



2016 年 3 月に新幹線が開通するため、町の盛り上がりのきっかけにしたいと市をあげて再興の準備をしているところである。

### （施設の特徴）

入所定員 60 名（1 ユニット 10 名・6 ユニット）の特別養護老人ホームの建築計画である。社会福祉法人心侑会としては初めての施設であるが、母体となる法人である有限会社トリノはすでに函館市内で複数の福祉施設の運営をしている。

特養は一般的に 80 床以上がスケールメリットがあると言われていたが、小さく建てればコスト・負債も減り、職員の負担も小さくなると検討した結果、60 床のコンパクトな造りとなっている。また港に近いことから津波にも強い壁式構造を採用し、狭い敷地を最大限に利用している。

厨房は、災害時の地域への炊き出しも想定した設計となっているため、機器は LP ガスと電気を併用している。また調理スタッフ専用の入口や配膳用エレベーターを設置し、限られたスペースにおいて、厨房と施設内をなるべく交わらせないよう衛生面に出来る限りの配慮をしている。





ユニット個室は広さ 13.2 m<sup>2</sup>であるが、大きな窓があるため、広く感じる。また寒冷地らしく、窓は二重窓になっており、電気温水器も設置している。また集中換気ではなく、各個室に機器を設置することにより、個室換気をしている。

特殊浴槽ではストレッチャーを2台にすることで、入浴者のスムーズな交代が可能となる。また入浴中の事故への対策として、入浴専用のパートを雇い、必ず複数の職員で対応するとのこと。



### 3. 今後の展開

平成 25 年 9 月にオープンしたサービス付き高齢者向け住宅シニアハウスあい花園など有限会社トリノの事業は、そのサービスを安い利用者負担で提供していたため、公益事業とみなされ、今後社会福祉法人心侑会に事業を移行していく予定である。

法人格こそ変わるが、今後も函館市内に根付いた社会福祉法人として、函館の高齢者・障害者福祉を支え続けていきたいとのことであった。



サ高住あい花園（有限会社トリノ）